

循環器内科

診療科の紹介

当科では、すべての循環器疾患において「患者さんに科学的根拠に基づく質の高い最善の医療を安全に提供する」ことを第一とし診療を行っております。当院には救命救急センターが併設されており、24時間救急診療が可能な体制を整えております。北九州地域の患者さん・医療機関の先生方のニーズに応え、信頼を得られるよう努力して参ります。

診療科の特徴

令和4年度から常勤医3名の診療体制となり、狭心症や急性心筋梗塞、末梢動・静脈疾患に対し待機的のみならず緊急カテーテル治療や徐脈性不整脈に対するペースメーカー手術を行っております。令和6年5月にはバイブレーション血管撮影装置 (Azurion2.2(L7))が新規導入され、カテーテル検査や治療において造影剤と被ばく線量の低減(従来のシングルプレーン装置との比較では造影剤は半量、被ばく線量は4分の1程度まで減少)に効果を発揮しています。特に高齢の患者さんにおいては慢性腎臓病を高頻度に合併しており、新規血管撮影装置の多大な恩恵が認められています。

令和7年4月から常勤医4名(全員循環器専門医)へ増員となり、うち1名は不整脈専門医で、5月から本格的にカテーテルアブレーション治療を開始することとなりました。

胸痛や労作時息切れ、呼吸困難だけでなく、徐脈や頻脈など不整脈疾患が疑われる患者さんがおられましたら是非ご紹介賜りますようよろしくお願い申し上げます。

取り扱う主な疾患

- 心不全(急性・慢性)
- 冠動脈疾患(狭心症、急性・陳旧性心筋梗塞)
- 心筋疾患(肥大型心筋症、拡張型心筋症、二次性心筋症(心アミロイドーシス、心サルコイドーシス、ファブリー病))
- 弁膜症(大動脈弁狭窄症、大動脈弁閉鎖不全症、僧帽弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症)
- 不整脈(心房粗動・細動、徐脈性・頻脈性不整脈、期外収縮)
- 大動脈疾患(胸部・腹部大動脈瘤、大動脈解離)
- 末梢動・静脈疾患(閉塞性動脈硬化症、腎動脈狭窄症、深部静脈血栓症)
- 肺循環疾患(急性肺血栓塞栓症、慢性血栓塞栓性肺高血圧症)
- 高血圧症(二次性高血圧症)や脂質異常症(家族性高コレステロール血症) など

令和6年度 診療実績

項目	総数(名)
外来受診総数(1日あたり平均数)	2,854(11.7)
入院総数(1日あたり平均数)	6,771(18.6)
心不全入院患者数	174

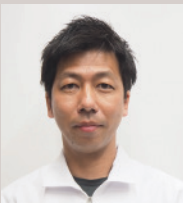
項目	総数
心臓カテーテル検査	158
冠動脈カテーテル治療()は緊急症例	78(16)
ペースメーカー植え込み術()は電池交換術	30(6)
カテーテルアブレーション	3
植え込み型心電計	1
末梢動脈カテーテル治療	6
腎動脈ステント治療	0
心筋生検	1
下大静脈フィルター留置	3

項目	総単位数
入院心臓リハビリ単位数(1月あたり単位数)	3,681(307)
外来心臓リハビリ単位数(1月あたり単位数)	608(51)
心臓リハビリ総単位数(1月あたり単位数)	4,289(357)

スタッフ紹介



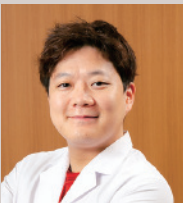
循環器内科主任部長
津田 有輝
つだ ゆき



循環器内科部長
大江 学治
おおえ ひさはる



循環器内科部長
屏 壮史
へい そうし



循環器内科部長
中村 圭吾
なかむら けいこ